

史實調査參考資料報告

步兵第三聯隊

職官

氏名

小隊長陸軍中尉

摘要

終戦時ノモノヲ記ス

所屬部隊(固有名称)

沖繩縣宮古島

支那事變以降ニ於ケル自己ノ略歴

所在部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要

所屬部隊作戦經過ノ概要

終戦(又ハ主力ノ戦闘終了)後ノ概況

先

其ノ他ノ参考事項

備考

一、支那事變ニ對シテ昭和二十六年二月一日東京市第十師團司令部に於て隊員として召集され、同年三月十日第六團司令部に編入され、同月下旬に上海に上陸し、同年四月九日に南京に到着し、同年六月九日に南京に上陸し、同年七月七日に南京に到着し、同年八月二十五日に南京に到着し、同年九月二十日に南京に到着し、同年十月二十五日に南京に到着し、同年十一月二十五日に南京に到着し、同年十二月二十五日に南京に到着し、同年一月二十五日に南京に到着し、同年二月二十五日に南京に到着し、同年三月二十五日に南京に到着し、同年四月二十五日に南京に到着し、同年五月二十五日に南京に到着し、同年六月二十五日に南京に到着し、同年七月二十五日に南京に到着し、同年八月二十五日に南京に到着し、同年九月二十五日に南京に到着し、同年十月二十五日に南京に到着し、同年十一月二十五日に南京に到着し、同年十二月二十五日に南京に到着し、

昭和二十九年八月十日宮古島上陸、宮古島準備、天一守作戦参加、終戦ニ至ル、

終戦後全負復原ノ目的ヲ以テ自活給与ニ専念ス、昭和三十一年三月五日沖繩本島到着、令ニ十年三月五日沖繩本島到着、令ニ十二年三月五日沖繩本島到着、

歸還輸送ノ狀況ヲモ併記ス、

沖繩收容所ニ於テ金銭等一切沒收セラル、

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス、

70

70

史實調査參考資料報告

所屬部隊 (固有名)			職官		摘要
沖繩縣宮古島			中隊長陸軍大尉 [Redacted]		終戦時ノモノヲ記ス
全右所在地			氏名		
支那事變以降			職官		職ノ變更及主ナル參加戰團名ヲ記ス
於ケル自己ノ略歴			氏名		
所在部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要			氏名		最後ノ所屬部隊ヲ主ニシ尙ソノ以前ノ所屬部隊ノ分ヲモ併記ス
所屬部隊作戰經過ノ概要			氏名		
終戦(又ハ主力ノ戦闘終了)後ノ概況			氏名		歸還輸送ノ状況ヲモ併記ス
歸郷(又ハ連絡)先			氏名		
其ノ他ノ參考事項			氏名		
備考			氏名		將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス

昭和三十九年六月二十六日付在部隊編成步兵一〇聯隊

天一押作致志

終戦後全盲(健)復員ノ目的ニ於テ予向上述之向上一クメ入力自活作業ニ専念ス。  
 昭和三十二年十二月二日復員ノタメ宮古島赴任(米船トシテ)  
 昭和三十二年十二月二日(米船トシテ)浦添到着  
 昭和三十二年三月二日浦内地浦到着

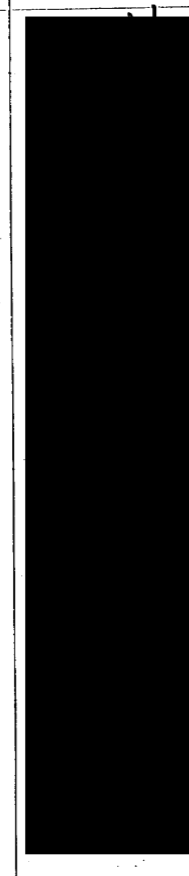
史實調査參考資料報告

備考	其ノ他ノ參考事項	先 歸郷(又ハ連絡)	終戦(又ハ主力ノ戦闘終了)ノ概況	所屬部隊作戦経過ノ概要	所在部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要	所屬(部 隊(固有 名)		全右所在地
						職 官	氏 名	
將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス			終戦後全員健康優良ヲ自認シ給与向上体法向上ノタメ全力自若作業ニ専念ス。	天一柳作戦参入	昭和三十九年六月二十六日在部隊編成步兵一、騎隊	昭和三十九年六月二十六日在部隊編成步兵一、騎隊	中隊長 陸軍大尉	沖繩縣宮古島
							終戦時ノモノヲ記ス	職ノ變更及主ナル参加戦闘名ヲ記ス
			昭和三十九年十一月二十日復員ノタメ宮古島去渡(米船ガガ舞)					
			昭和三十九年十二月二日晉(津)島到着					
			昭和三十九年三月二十日晋(津)島到着(米船ガガ舞)					
			昭和三十九年三月二十日晋(津)島到着					
			昭和三十九年三月二十日晋(津)島到着					
			昭和三十九年三月二十日晋(津)島到着					

昭和三十九年六月二十六日在部隊編成步兵一、騎隊

天一柳作戦参入

終戦後全員健康優良ヲ自認シ給与向上体法向上ノタメ全力自若作業ニ専念ス。



支那事變以降... 昭和三十九年六月二十六日在部隊編成步兵一、騎隊

所在部隊ノ編成... 昭和三十九年六月二十六日在部隊編成步兵一、騎隊

所屬部隊作戦経過ノ概要... 最後ノ所屬部隊ヲ主ニシ向ソノ以前ノ所屬部隊ノ分ヲモ概記ス

終戦(又ハ主力ノ戦闘終了)ノ概況... 歸還輸送ノ状況ヲモ併記ス

先 歸郷(又ハ連絡)

其ノ他ノ參考事項

備考 將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス

史實調査參考資料報告

摘要

所屬(固有名)部隊

步兵第三聯隊

職官

中隊長  
陸軍大尉

全右所在地

宮古島

終戦時ノモノヲ  
記ス

支那事變以降ニ  
於ケル自己ノ略  
歴

昭和十五年三月三日 第三聯隊入隊  
十六年九月三日 任中隊長  
十九年三月三日 浦中隊長  
二十年三月ヨリ 天作戦参加  
二十一年八月三日 任陸軍大尉

職ノ變更及主ナ  
ル参加戦闘名ヲ  
記ス

所在部隊ノ編成  
年月日及編制裝  
備ノ概要

典部隊隊下今 昭和十九年六月二十七日  
陸軍省陸軍部

(1) 師団 歩三聯 砲山一工一聯一  
判毒一 衛一 兵靴一  
回聯隊 歩三人砲二中通一

所屬部隊作戦經  
過ノ概要

一典部隊昭和十九年三月三日 浦中隊長  
宮古島上陸

最後ノ所屬部隊  
ヲ主ニシ向ソノ  
以前ノ所屬部隊  
ノ分ヲモ併記ス

終戦(又ハ主力  
ノ戦闘終了)  
後ノ概況

終戦時全員復員目的にて給養向上体位向上  
ノ々々自活作業ニ専心ス  
昭和二十年十二月三十日 復員ノ々々宮古島支隊(米給)  
三月 浦中隊長  
昭和二十年三月三十日 中隊長  
三月 浦中隊長

歸還輸送ノ状況  
ヲモ併記ス

歸郷(又ハ連絡)  
先



其ノ他ノ参考事  
項

備考

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス

史實調査參考資料報告

所屬部隊  
(固有名)

全右所在地

步兵才三聯隊

沖繩縣皇古島

職 官

氏 名

大塚新太郎中尉

大塚新太郎

6中

摘要

終戦時ノモノヲ  
記ス

職ノ變更及主ナ  
ル参加戦闘名ヲ  
記ス

支那事變以降ニ  
於ケル自己ノ略  
歴

昭和十七年八月十日 歩兵才三聯隊に入隊(現役志願)  
昭和十七年八月十日 任 陸軍少尉  
昭和十七年八月十日 任 陸軍中尉  
昭和十九年八月十日 皇古島上陸

所在部隊ノ編成  
年月日及編制裝  
備ノ概要

所屬部隊作戦經  
過ノ概要

昭和十九年六月二十日 皇古島上陸  
歩兵才三聯隊

終戦(又ハ主力  
ノ戦闘終了)  
後ノ概況

先  
歸郷(又ハ連絡)

其ノ他ノ參考事  
項

離職後復職地 皇古島 復員多ク於此向上ノ  
日進トシテ自決作戦ヲ予今心ス。  
昭和十七年八月十日 皇古島上陸 (皇古島)  
昭和十七年八月十日 皇古島上陸 (皇古島)  
昭和十七年八月十日 皇古島上陸 (皇古島)  
昭和十七年八月十日 皇古島上陸 (皇古島)  
昭和十七年八月十日 皇古島上陸 (皇古島)  
昭和十七年八月十日 皇古島上陸 (皇古島)

歸還輸送ノ状況  
ヲモ併記ス

最後ノ所屬部隊  
ヲ主ニシ向ソノ  
以前ノ所屬部隊  
ノ分ヲモ併記ス

備  
考

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス

史實調査參考資料報告

摘要

所屬(固有名)部隊

歩兵第三聯隊

職官

中隊長 陸軍中尉

全右所在地

沖繩縣宮古島

氏名

[Redacted Name]

終戦時ノモノヲ  
記ス

支那事變以降ニ於ケル自己ノ略歴

昭和十六年一月十日滿洲第九七部隊要員トシテ東部へ入隊  
昭和十七年十月十日陸軍少尉任命  
昭和十九年八月十日宮古島上陸

職ノ變更及主ナル參加戰團名ヲ記ス

所在部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要

所屬部隊作戰經過ノ概要

終戦後作戰地ニ在リテ自治作業勇ラシク働キ  
昭和二十年十月三日復員シテ宮古島ニ出立  
十一月十日沖繩島到着

最後ノ所屬部隊ヲ主ニシテ以前ノ所屬部隊ノ分ヲモ併記ス

終戦(又ハ主力ノ戦闘終了)後ノ概況

歸還輸送ノ狀況ヲモ併記ス

先 歸郷(又ハ連絡)

[Redacted]

其ノ他ノ參考事項

備考

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス

史實調査參考資料報告

摘要

所屬部隊  
(固有名稱)

歩兵第三聯隊

職官

中隊長 陸軍中尉

終戦時ノセノヲ  
記ス

全右所在地

沖繩縣宮古島

氏名

[Redacted Name]

支那事變以降ニ  
於ケル自己ノ略  
歴

昭和十六年一月十日滿洲第九七部隊要員トシテ東部第八部隊  
ヲ入隊  
昭和十七年十月十日陸軍少尉任セラルル  
昭和十九年八月十日宮古島上陸

職ノ變更及主ナル  
參加戰闘名ヲ  
記ス

所在部隊ノ編成  
年月日及編制裝  
備ノ概要

所屬部隊作戦經  
過ノ概要

終戦後作戦地ニ在リテ自治作業ヲ勇ラシムル  
努力  
昭和三十年十月三日復員為宮古島出立  
昭和三十二年三月三日沖繩島到着

最後ノ所屬部隊  
ヲ主ニシ向ソノ  
以前ノ所屬部隊  
ノ分ヲモ概記ス

終戦(又ハ主力  
ノ戰闘終了)  
後ノ概況

歸還輸送ノ狀況  
ヲモ併記ス

歸郷(又ハ連絡)  
先

[Redacted]

其ノ他ノ參考事  
項

備考

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス

史實調査參考資料報告

所屬部隊 (固有名称)	職官	氏名	終戦時ノモノヲ 記ス
歩兵第三聯隊	小隊長 陸軍中尉	[Redacted]	[Redacted]
沖繩縣宮古島	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
支那事變以降 於ケル自己ノ略 歴	昭和三十二年十月十日滿洲九師團警備隊 昭和三十二年四月四日滿洲九師團編入同地警備 昭和三十二年四月四日甲午能率陸軍教導學校入校、卒業 昭和三十二年六月五日陸軍教導學校分遣(北支隊警備)	昭和三十二年六月五日陸軍教導學校分遣(北支隊警備)	職ノ變更及主ナル 參加戰闘名ヲ 記ス
所在部隊ノ編成 年月日及編制裝 備ノ概要	昭和三十二年六月五日陸軍教導學校分遣(北支隊警備)	昭和三十二年六月五日陸軍教導學校分遣(北支隊警備)	昭和三十二年六月五日陸軍教導學校分遣(北支隊警備)
所屬部隊作戦經 過ノ概要	昭和三十二年六月五日陸軍教導學校分遣(北支隊警備)	昭和三十二年六月五日陸軍教導學校分遣(北支隊警備)	昭和三十二年六月五日陸軍教導學校分遣(北支隊警備)
終戦(又ハ主力 ノ戰闘終了) 後ノ概況	昭和三十二年六月五日陸軍教導學校分遣(北支隊警備)	昭和三十二年六月五日陸軍教導學校分遣(北支隊警備)	昭和三十二年六月五日陸軍教導學校分遣(北支隊警備)
先 歸郷(又ハ連絡)	昭和三十二年六月五日陸軍教導學校分遣(北支隊警備)	昭和三十二年六月五日陸軍教導學校分遣(北支隊警備)	昭和三十二年六月五日陸軍教導學校分遣(北支隊警備)
其ノ他ノ参考事 項	昭和三十二年六月五日陸軍教導學校分遣(北支隊警備)	昭和三十二年六月五日陸軍教導學校分遣(北支隊警備)	昭和三十二年六月五日陸軍教導學校分遣(北支隊警備)
備 考	昭和三十二年六月五日陸軍教導學校分遣(北支隊警備)	昭和三十二年六月五日陸軍教導學校分遣(北支隊警備)	昭和三十二年六月五日陸軍教導學校分遣(北支隊警備)

天一物... 参考

昭和三十二年六月五日陸軍教導學校分遣(北支隊警備)

終戦後ハ戦地ニ在リテ全員健康復原ノ目途トシテ  
昭和三十二年六月五日陸軍教導學校分遣(北支隊警備)

歸還輸送ノ状況  
ヲモ併記ス

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス







関東上陸地支局 昭和二十年二月十日

史実調査参考資料報告

摘要

所属部隊 (陸) 歩兵第三聯隊 職 本邦尉 官昇 大尉 終戦時ノモノヲ記ス

名所在地 中継島宮古島 氏名 [Redacted] 職 大尉 官昇 大尉 終戦時ノモノヲ記ス

支那事変以 昭和十八年自歩兵第三歩兵連中隊長 昭和十九年十月 降ノ於ル自 第一師團副官 同十九年七月 中継島宮古島進駐 已ノ略ノ 昭和二十年三月歩兵本邦尉 台湾沖航空戦 天一号作戦ニ参加

折属部隊ノ 編成年月日 明治七年十一月十七日 甲一編成(但シ作業小隊ニシテ) 備編制裝 備概要

折属部隊作 戦經過ノ概 北滿警備ニ任シ昭和十九年八月 中継島宮古島ニ進駐 警備方島南都ノ警備ニ任ス 其間台湾沖航空戦ニ参加 飛行場整備ニ協力 第三軍部隊下野隊トシテ感状ヲ授身カレ 天一号作戦ニ参加シ飛行場整備及対空射撃ニ任シ航空部隊ノ作戦ニ協力ス

終戦ニ至リ主力 戦斗終了ノ後ノ概況 終戦後ハ自活態勢ノ確立 將兵ノ志氣ノ鼓舞 精神教育ニ重点ヲ指シ 昭和十九年十一月 聯隊長以下主力米軍ノ指示ニ依リ 〇〇ニ出発 同二十年一月 残部米船ニ依リ復員 残部整理トシテ長石川少隊以下九名 残留 同年二月三日 米船ニ依リ 師團司令部トテ 出発 同月九日 浦賀上陸 帰還 終戦ニ至リ 送状ヲ送

帰郷(又ハ連絡)先 [Redacted]

其他ノ参考事項 備考 將校ニ一部宛記載セシムルニ復員者史実部ニ送付ス



關東上陸地支局

昭和二十一年 二月十日

史實調查參考資料報告

摘要

所屬部隊

歩兵第...隊

職

大隊長

官階

少佐

右所在地

沖繩縣宮古島

終戰時ノモ  
ノヲ記ス

支那事変以  
降ニ於ケル自  
己ノ略ヲ

昭和二十一年八月...  
昭和二十一年九月...  
昭和二十一年十月...  
昭和二十一年十一月...  
昭和二十一年十二月...

職ノ変更及  
至ルニ参加  
戦斗ノ名目  
記ス

所屬部隊ノ  
編成年月日  
及編制裝  
備ノ概要

昭和二十一年十一月...  
甲編成(但シ作業小隊ナシ)  
馬匹八架馬木介者ノミ

最後ノ所屬  
部隊トシテ  
之尚シ以前  
ノ所屬部隊  
ノ分ヲニ概記  
ス

所屬部隊作  
戦經過ノ概

支那事変...  
昭和二十一年...  
昭和二十二年...  
昭和二十三年...  
昭和二十四年...  
昭和二十五年...

終戦(又ハ主力  
ノ戦斗終了)  
後ノ概況

歸還輸  
送ノ状況ヲ  
モ併記ス

其他ノ参  
考事項

昭和二十一年一月...  
昭和二十一年二月...  
昭和二十一年三月...  
昭和二十一年四月...  
昭和二十一年五月...  
昭和二十一年六月...  
昭和二十一年七月...  
昭和二十一年八月...  
昭和二十一年九月...  
昭和二十一年十月...

備考

將校ニ部宛記載セシメテ復員者史實部ニ送付ス

関東三陸地支局

昭和二十一年二月十日

史実調査参考資料報告

摘要

所属部隊	歩兵三師隊	職	大隊附	官階	主計中尉	終戦時ノモ ノヲ記ス
右所在地	沖縄縣宮古島	氏名	[Redacted]			

支那事変以  
降ニ於テ自  
己ノ略ヲ

昭和十七年十一月大隊本部附  
同十九年八月 沖縄宮古島進駐  
台湾沖航空戦  
天一号作戦(参加)

職ノ変更及  
至ニ参加  
戦斗名ヲ  
記ス

所属部隊ノ  
編成年月日  
及編制裝  
備ノ概要

明治七年十一月十七日  
甲編成(但シ作業小隊ナリ)

所属部隊作  
戦経過ノ概

大満堂準備ニ任ジ。昭和十九年八月沖縄宮古島ニ進駐  
宮古島南村ノ警備ニ任ズ。南台湾沖航空戦ニハ  
飛行場整備ニ協力第三十三軍部隊トシテ  
感状ヲ授與サレ。天一号作戦ニハ同シク飛行場  
整備及対空射撃ニ任ジ。航空部隊ノ作戦ニ協カス

最後ノ所属  
部隊ヲ至ニ  
之尚ソ以前  
ノ所属部隊  
ノ合ヲモ概説

終戦(又ハ主力  
ノ戦斗終了)  
後ノ概況

終戦後ハ自派態勢ノ確立ノ為メ、将兵ノ志氣ノ鼓舞  
精神教育ニ重点ヲ指向ス  
昭和二十年十二月 師隊長以下 主力未軍指部ヨリ〇〇ニ  
出陣。同二十一年一月 残部未船ニ依リ復員。残部班  
トシテ長谷川中佐以下 九名残留。同年二月三日  
未船ニ依リ師團司令ヨリト共ニ出陣。同月九月浦島陸

帰還輸  
送ノ概況ヲ  
モ併記ス

帰郷(又ハ連  
絡)先

其他ノ参  
考事項

備考

将校ニ部宛記載セシメテ復員者史実部ニ送付ス